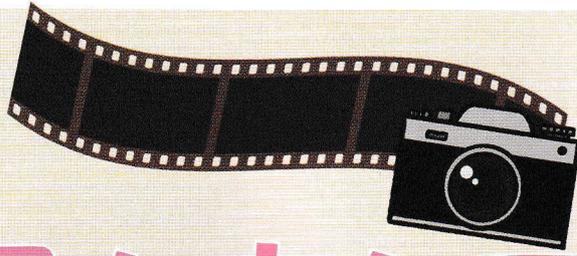


# わが家の



# 祖父母を支えて

## 第1回 伊藤きよさん(102歳)

# 診療所だより

第四一九号(4月号)

発行 (医) 宏友会  
上田診療所  
酒田市上野曾根  
字上中割73番地  
TEL.0234-27-3306  
責任者 矢島恭一

今月より新シリーズとして、超高齢の患者様のご家族にお話を伺い、介護にあたっての苦労話や楽しかった話を通して健康の秘訣を教えてください。第一回は伊藤きよさん(102歳)。お嫁さんである伊藤友子さんにお話を伺いました。

きよさんは遊佐町の下小松地区に生まれました。7人きょうだいで、現在でも妹さんが一人秋田県にお住まいです。

友子さんから見たきよさんは「なんでも出来る人」。家事はもちろんのこと、外に働きに出て畑仕事もやっていた活発な方だったそうです。お孫さんが生まれてからは仕事を辞め、家事と畑に専念しました。野菜はなんでも作っており、150坪の畑では足りず、他に借りて出荷をしていたこともありました。

今は診療所だよりを讀んだり、算数の問題や脳トレの間違い探しをしたり、パズルをやったりして過ごしています。取り組んでいるパズルは300ピース

スのもので、「3日かかる」と話してくださったきよさん。これまでで作った1000ピースのパズルは、自宅の至る所に飾られています。診療所の中待ち合いに飾ってある日光東照宮のパズルもきよさんが完成させた作品です。

これまでに何度も診療所だよりに登場していただいています。平成8年12月号に掲載された刺繍の作品は現在もきよさんのお部屋にあります。手仕事を始めたのは72歳の時。きっかけは近所の方がやっているのを見たことで、自分にも出来るはずだ、と始めたようです。友子さん曰く「人に負けれない」という気持ちと持ち前の手先の器用さが合わさって数々の作品が生み出されたのではないかとのことでした。自宅にはたくさん

のきよさんの作品が飾られています。人あげたりしたの(パズルも) 実際はもったなくさんの作品を制作しているそうです。

きよさんは歌も好きで、「昔の歌を毎日歌っているよ」と友子さん。数々の思い出の写真を見せていただいていると、「温泉の写真の時は10曲くらい歌った」とお話していました。数年



お子さん達とその伴侶と温泉旅行へ下段中央がきよさん

前までは息子さんや娘さんと頻りに旅行に行っていました。お孫さんたちからは敬老の日に必ずプレゼントが送られてきており、みんなに大切にされています。お子さん・お孫さん達との交流がかけがえのない宝物であり、きよさんの健康の秘訣となっているようでした。



埼玉の息子さん一家が訪ねてきた記念に3家族集まって

# シリーズ「ふるさと」

## その1-1 動物の目の位置と首

頭をクルクル回しながらミズクが松の木に止まっていた。フクロウの仲間で、耳のように見える飾りの耳（羽角）を持つものをミミズクと呼ぶらしい。夜行性のため日中は眠っているように見えるが、近づくると鋭い目で見つめていた。



松の木のミミズク

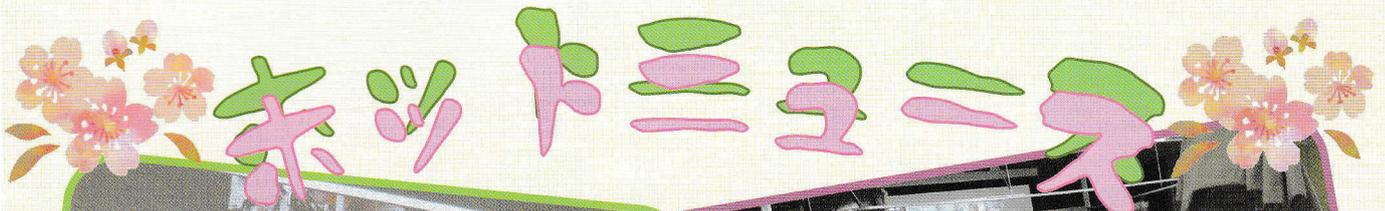
魚の目は「体」の両側にあり視界が広く、獲物を追いかける時も敵に襲われた時も即応できる。しかし、周りの風景は大よそ見える程度である。魚から進化したワニなどの両生類は魚より目が「体」の前方にあり、太い首を左右に振って視野を広げている。馬の目は「頭」の前方にあり、首は前後左右によく回転する。獲物を追うライオンの目は「顔」の前面にあ

る。サルも「顔」の前面にあり、首はより細い。サルが樹から樹へ飛び移る時、立体的で正確に距離を測る必要があるからだ。恐竜から進化したフクロウの目も「顔」の前面にあり眼鏡をかけたように見える。視野が120度と狭いため首が左右に（約270度）回るように特別に進化したようだ。動物は生きるために「目の位置と首」

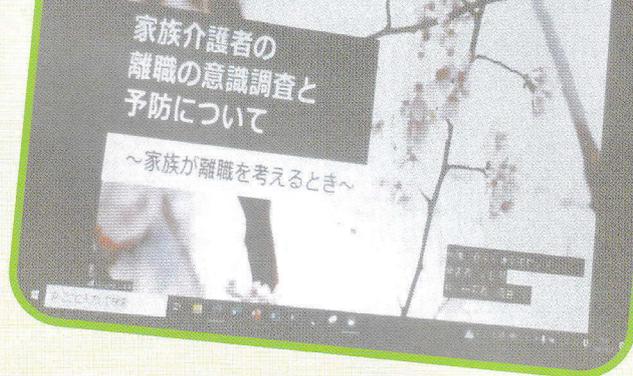
を密接に関係づけて進化してきた。

ネットなどの利用で目から受ける情報量が飛躍的に増加している。それに応じて人の目の機能も高まり進化していくと考えられている。

（庄内 平也）



## 2月27日活動発表会



各部署の取り組みの成果を聴いて明日からの業務に活かします！

## 人事異動のお知らせ



診療所に支援センターの事務所が移って、あっという間に5年、今まで大変お世話になりました。4月より地域包括支援センターほくぶに異動となります。これからも地域をまわらせて頂きますので、宜しくお願いします。

介護支援専門員 淵田 琴

ホッと一息... 春を感じました



## 2番目に長く お付き合いました女性

矢島 恭一

私たち夫婦は、今年金婚式を迎えました。結婚した頃を振り返ると、ずいぶん大胆なことをやってしまい、関係者にも迷惑をかけたのではないかと今さらながら反省しています。

妻とは大学は違うものの同同学年。彼女は国家試験を受け、卒業もしていたのですが、私の大学は学部1年の時の、学生運動で卒業が8月に延期になり、国家試験は10月（当時は年2回実施された）になりました。つまり結婚する時は、まだ現役の学生の身分、新婚旅行は学割を使わせていただきました。スケジュールの関係で、紀伊半島、京都方面3泊4日の旅を先に済ませてから披露宴となりました。

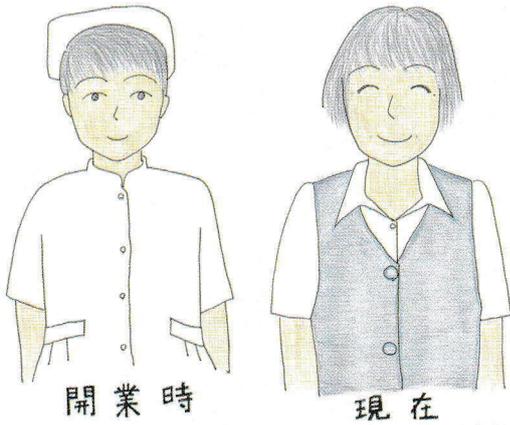
1973年3月19日、披露宴も安い会場をとということで、たまたま平日で空いていた公的学術団体の会館を親戚に紹介してもらい利用しました。今思うとこちらの身勝手な列席者は、平日夕方に都合をつけるのは大変だったろうなと思います。

以来50年、何とか結婚生活を続けてきましたが、当初の甘い期待はすぐ裏切られ、想像だになかった生活になりました。この辺りが、同学生年、同職種の難しいところだと思うのですが、お互いにライバル意識が強く働きます。今でこそ男女共同参画、男性育休の取得、同一労働同一賃金など女性が働きやすい環境が法

律で制度化されてきたものの、妻が医師として働き始めた頃は、まだ女性医師が少なく、仕事を評価されるには相当努力が必要でした。

そのうち私が地方の病院に派遣され、単身赴任を余儀なくされました。開業する前尾花沢の5年余りは、一番一緒に時間は長かったのですが、開業してからも20年余りは有床診療所でしたからほとんど診療所に泊まりきり、有床診療所を止めてからもほぼ毎日泊まっています。理由は、妻と働く時間帯が合わないからで、彼女が今の仕事を続ける限り生活パターンは変わりそうもありません。

さて今月号では是非書いておきたい人物がいます。私が開業した1986年（昭和61年）10月から36年6ヶ月ずっと一緒に働いてくれていた堀千秋さんが法人を離れます。



彼女は、名古屋にある私立大学の大学病院で働いた後、その時一緒に

働いた先生が開業するというので、三重県四日市に移り、地域医療を学んでいました。八幡町出身の彼女がどこから私の開業を聞きつけたかは分かりませんが、赤いシビックに乗って三重から帰って来てくれました。

前述のように診療所は当初有床診療所でしたので、入院患者さんがおりました。最上川花火大会の時は、夜勤を率先して引き受けてくれ、患者と一緒に線香花火で雰囲気味わってもらったり、節分の時は診療所内で豆まきをやってくれたり患者さんのことを一番に考える人でした。

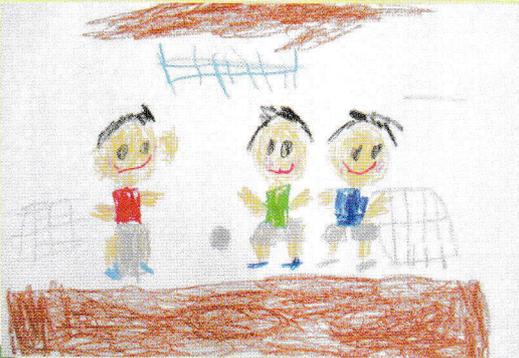
またケアマネジャーの資格を取り、うららから出来たあと1998年には診療所からうららに異動、支援センター長、看護部長として初期のうららを形作ってくれました。

うららの駐車場で、今年は桜の開花も早いと伝えられているが、実際のところどうなんだろうと木を眺めていて想い出しました。そういえばこの桜の木も堀さんが細い苗木を買ってきて植えたんだと。

その後2006年に酒田市の委託を受けて地域包括支援センターが出来たときには、センター長として異動、定年で辞めたいと言っていたのですが、延長の期間にやっとなら後継の保健師さんが見つかり、「もう自分はいいだろう」と晴れ晴れとした顔で次の職場に向かいます。本当に長い間ありがとうございました。

## 子どもたちの たくひん

北平田保育園



「おにいちゃんたちとサッカーをしたのがたのしかった」  
たかはし たつきさん



「にんじゃごっこがたのしかったよ」  
さいとう まおさん

▶わが家に4番目の子どもがやってきた  
次男坊のたかはしゴン太です！

▶5年経ったらいつの間にか次男から  
長男に！！立派な番犬君🐕

# Instagram



事務  
高橋 麻里



職員が撮ったお気に入りをご紹介します★

## 3月号の答え

誠心誠意  
でした！

富山市在住の土田芳男さんより  
届いた絵手紙をご紹介します。



絵  
手  
紙

今  
月  
の

- ① うきのとふ
- ② だんぼしやま
- ③ きよんびゆくう

頭を柔らかくして  
考えてみましょう！

答えは来月号です♪



## アタマの体操

☆次のひらがなを並び替えることができる  
単語は何でしょうか？  
だんだん難しくなっています。

## 編集後記

久しぶりに患者様のお宅に  
お邪魔しました。直接お話を  
聞かせて頂くと、当時の様子  
や感情がダイレクトに伝わっ  
てきて、いいものだなあと感  
じました。この感動を皆様に  
お届け出来るよう、新シリ  
ズを進めて参ります！

(阿部)

## 大型連休の 診療について

4月29日(土)	休診
4月30日(日)	休診
5月1日(月)	通常通り
5月2日(火)	通常通り
5月3日(水)	休診
5月4日(木)	休診
5月5日(金)	休診
5月6日(土)	午前診察



子供は大きくなったか？と  
Mさん。年中さんになったよ  
と伝えると、「見かけたときは  
産まれ子だったなさの」と覚  
えてくれたことに嬉しい  
気持ちが高み上げました。  
(美由紀)